

■神奈川県環境学習リーダー会の「創設者」、「団体名称」、「ロゴマーク」

●当会の創設者

神奈川県環境科学センターは1993年(平成5年)、環境保全活動のビジョンは「自ら学び、行動へ」であるとして、学びと行動へのリーダー役を養成するための「第1回環境学習リーダー養成講座」を開設しました。この講座の修得者の有志たちが講座の趣旨を実現化しようと集結したメンバーによって当会が創設されました。その初代代表を務めたのが故古澤正文氏(2018年没)です。即ち、古澤正文氏が当会の創設者です。古澤正文氏は、陸軍士官学校、陸軍少尉、東大工学部(旧制)、大企業役員などを経て相模原市に「リウッドクラブ」工房を開設されました。(引用:会報103号)



当会創設代表者
古澤正文氏

●当会の団体名称

当会の団体名称「神奈川県環境学習リーダー会」は、神奈川県環境科学センターが実施した「環境学習リーダー養成講座」と当会の創設との関連で命名されています。当会の創設は、「環境学習リーダー養成講座」修得者の有志会であることから講座との連携付けて「環境学習リーダー連絡会」との名称で環境活動を開始されました。その後、環境活動を実施する団体を目指して、2001年に「環境学習リーダー会」と改称されました。

「環境学習リーダー会」はその後、環境ジャンルの部会を構成するなど環境活動の充実化を図り、神奈川県全域での活動をテリトリーとするべく、2007年にNPO法人格を取得しました。NPO法人格を得て団体名称を「非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会」と制定されました。

- ・1993年：「環境学習リーダー連絡会」(環境学習リーダー養成講座の修得者有志の会)
- ・2002年：「環境学習リーダー会」(環境活動を実施する団体として改名)
- ・2007年：「非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会」(NPO法人格を取得して制定)

【参考】

- ①当会の「会報」のタイトル名称：「環境リーダーNews」(2015年理事会承認)
- ②ウェブサイトでの音声検索キーワード：「環境リーダー会」(SEO設定)
SEO認定(Search Engine Optimization)の略称は「検索エンジンの最適化」。ウェブサイトで上位に表示させる設定。
- ③ホームページでの②禁止表記など：「Kanagawa Environmental-study Leaders」、「略称KEL」
尚、②と③は、理事会承認を受けたものではない。

●当会のロゴマーク

当会の「ロゴマーク」は、2015年に「会報の名称」制定と同時に理事会承認・制定されました。ロゴマークは当会の環境活動コンセプト、活動イメージを視覚的に内外へ印象付ける役割りのシンボルマーク「顔」として制定されています。ロゴマークのデザインコンセプトは次の通りです。

当会のロゴマークは、当会のコンセプトである自然環境保全活動、即ち、地球環境の課題を背景として、生物多様性の維持や地球温暖化の抑制などをテーマに循環社会を目指して活動することをイメージしています。当会創設の起点である神奈川県環境科学センターとの連携や、神奈川県全域をテリトリーとした活動、更には、次世代を担う子どもたちが自然環境に対する芽生えを促す環境体験活動を開いていることをイメージしてデザインしています。

ロゴマークの基調を、地球環境をモチーフとして「地球をモデル化」した円形構図としています。地球モデルの上部には、子どもたちが自然環境への芽生えや成育を促す環境体験活動をイメージして「若葉の芽」をモデル化したデザインとしています。地球モデルの下部には当会の団体名を配置して全体を支える構図。中央には、当会創設の起点となった神奈川県環境科学センターとの連携や、活動のテリトリーとして「神奈川県の地形」をデザインしています(ロゴマーク作成者:小林信雄)。

